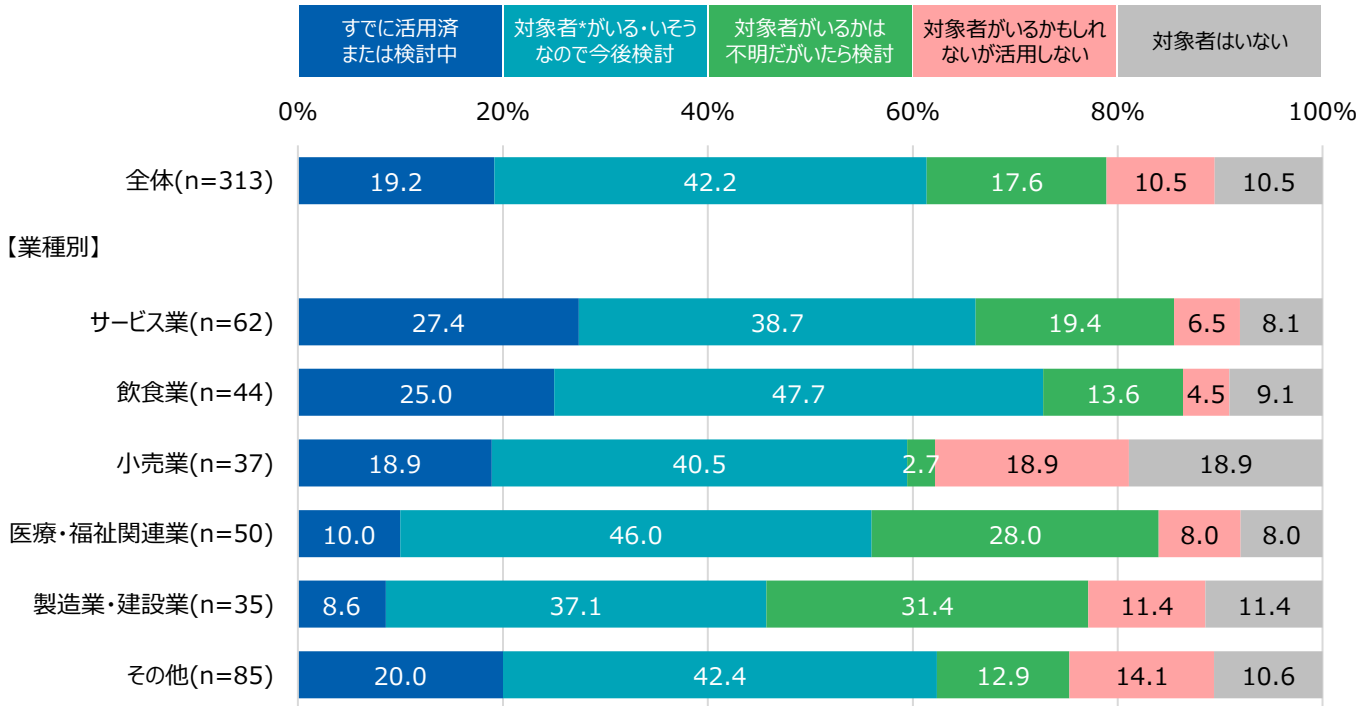


ジョブズコミュニティレポート 2024年1月号

年収の壁・支援強化パッケージを「すでに活用済・検討中」19.2% — 年末の就業調整に備え、早めの情報収集・検討を —

Q. 「年収の壁・支援強化パッケージ」の活用意向をお聞かせください。 *対象者=年収106・130万円付近で働いている人



年収106・130万円の「年収の壁」を意識せず働けるよう、政府は2023年10月より「年収の壁・支援強化パッケージ」をスタートしました。助成金や被扶養者認定により、年収の壁を越えても手取りが減らないための施策です。アルバイト・パートの就業時間調整が減ることが期待されますが、開始から約3カ月後の各社の活用・検討状況を伺いました。

「すでに活用済または検討中」は19.2%。飲食業やサービス業では比較的活用・検討が進んでいますが、全体としてはまだ限定的です。「対象者がいる・いそうなので今後検討」42.2%、「対象者がいるかは不明だがいたら検討」17.6%となり、医療・福祉関連業や製造業・建設業を中心にこれから対象者の確認や検討に入る企業も多いようです。対して「対象者がいるかもしれないが活用しない」は10.5%となりました。

当社の「[求職者の動向・意識調査2023](#)」で、今後働く時間・日数を増やしたくない（増やせない）人にその理由を聞きました（次ページ参照）。アルバイト・パート就業者では「プライベートの時間を確保したい」51.6%、「体力や健康面に不安がある」41.2%などが上位ですが、「税や社会保険、扶養控除の理由で、年収を一定額以下におさえない」も16.8%となり、特に30～59歳女性では2割を超えています。

年収の壁・支援強化パッケージの活用により、年末にかけて発生しやすい就業時間調整が減り、貴社の従業員がより多く働けるようになるかもしれません。制度の詳しい内容を知らない、まだ検討を始めていないという企業においては、まずは政府ホームページなどから情報収集し、対象者の有無や、働き方の意向確認に取り掛かってはいかがでしょうか。

【参考】 [厚生労働省 年収の壁・支援強化パッケージホームページ](#) [当社特集ページ](#)

- アンケート実施期間：
2023年12月22日(金)～2024年1月5日(金)
- 有効回答数：313人
- 対象：人材インフォメールマガジン会員
(主な会員は経営者、人事担当者)

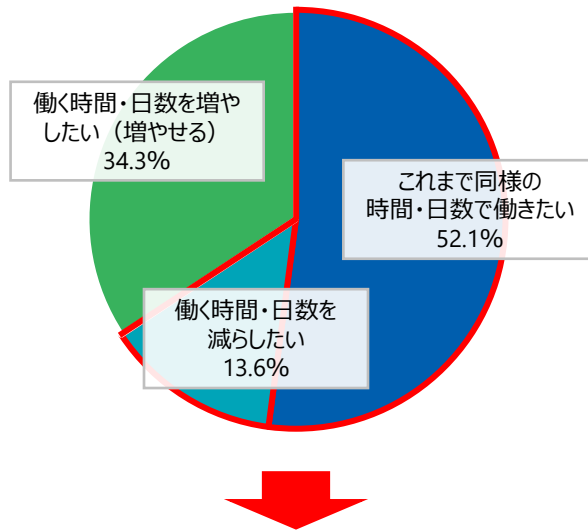
- 本レポートに関するお問い合わせ先
jbrc@r.recruit.co.jp
- その他のアンケート結果はこちらから
https://jbrc.recruit.co.jp/tag/tag_38.html

※レポート内の数値は、集計結果の小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100にならない場合があります

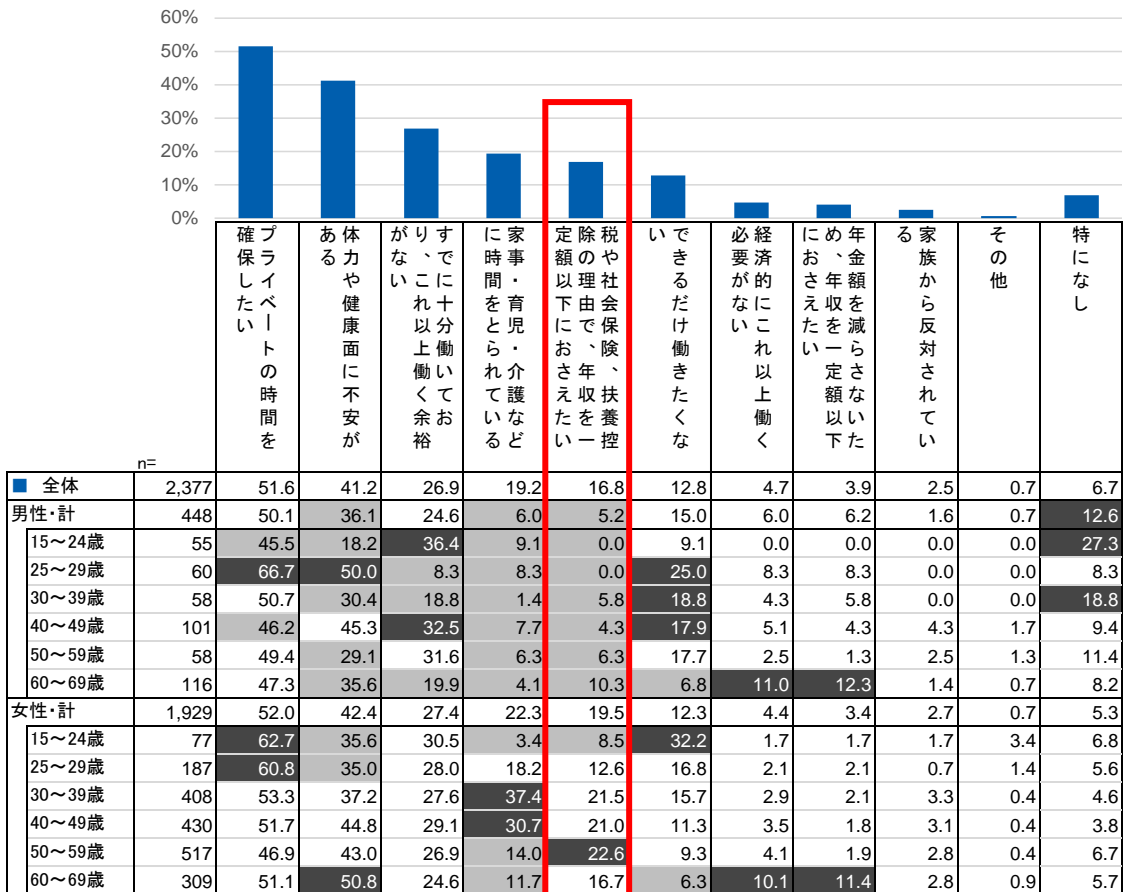
求職者の動向・意識調査2023

※以下は年収の壁の影響を受けやすいアルバイト・パートに絞った結果です。基本報告書では正社員、契約社員、派遣社員の結果もご覧いただけます。

Q. 今後の働き方としてお気持ちに近いものを教えてください。現在の勤務先や副業兼業、ダブルワークなどにかかわらずお答えください。
 (単一回答)【対象：調査時点でアルバイト・パートの人 (n=3,618)】



Q. 勤務時間や日数を増やすにあたって、不安に感じていることがあれば教えてください。
 (複数回答)【対象：前問で「これまで同様の時間・日数で働きたい」「働く時間・日数を減らしたい」と答えた人】



反転シロヌキ ...全体の数値より5ポイント以上大きい 灰色アミカケ ...全体の数値より5ポイント以上小さい